

## 市政を問う

## 一 般 質 問

第1回定例会の一般質問は、3月11日、12日の2日間行われ、11人の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

議員名の右側にある2次元コードを読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。



阿久津 佳子 議員



## 市民の安全安心について

**問** 現在の市内消防署・分署の救急車両配置状況は、市民の生命や身体を担保する上で課題があると思う。①救急車両の配置状況について、②茨城西南広域消防本部管内（4市3町、31万人強）でも古河市は人口、世帯数が多く、人口密度も高い。中でも特に、住吉分署は人口6万9千人弱、担当小地域51地域と突出しているが救急車両配置台数が1台であることについて

の所見、③合併後20年経過するも市町村合併前の11市町村時代の配置体制を踏襲していることへの所見、④適正配置を鑑み、安全安心を担保する上で市長から見直し要望書提出や申し入れの可否や所見、以上について伺う。

**答** ①古河消防署管内の古河消防署に非常用1台を含む2台、住吉分署に1台、三和分署に1台の計4台、総和消防署管内の総和消防署に1台、合計5台配置されている。②茨城西南広域市町村圏事務組合（以下、組合）の見解では、近隣の署との連携において適正に運用がされているとのことである。③組合によると、構成する市町を一つの都市として捉え、救急車両を適正に配置しているとのことである。

ある。消防庁の示す消防力の整備指針は、時代の変遷に伴い改正がされてきたので、今後も市として注視していきたいと考えている。組合には、組合議会も設置されているので、適正に今後議論がされていくと考える。④市の要望を組合に伝えることは可能だが、構成市町の理解を得ながら検討を進めるためには、客観的な状況変化が生じた段階で申し入れを行うことが有効であると考えている。



本年1月、住吉分署に配備された高規格救急車

《その他の質問》

・学校教育施設の安全管理について